



## 地域と共に進める観光地域づくり

(職種:鳴子温泉郷の持続可能な観光地域づくり支援業務)

鳴子温泉郷の持続可能な観光地域づくりに向け、情報発信やイベント対応、会議運営などに取り組んでいます。旅館や店舗の皆さんと対話を重ねる中で、それぞれの思いや現場の課題に触れ、地域としての方向性を共に考えてきました。多様な意見を調整しながら形にしていく難しさの中に、大きなやりがいを感じています。

1年目の活動を通じて築いたつながりと学びを土台に、2年目は具体的な取り組みを増やしていきます。地域の皆さんと共に一体感を高め、鳴子温泉郷全体としての魅力を発信していきます。歴史や文化、暮らしの価値を分かりやすく伝え、誇りを持てる観光地域づくりを進めていきます。

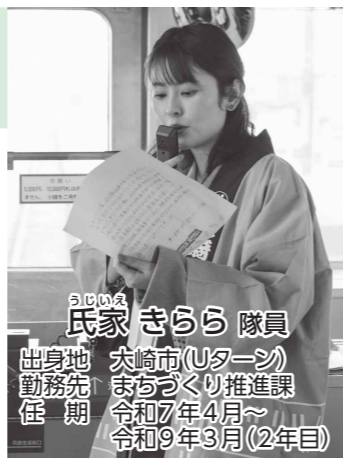
外崎 真也 隊員  
出身地 北海道白老町  
勤務先 観光交流課  
任期 令和7年4月～令和9年3月(2年目)

## 陸羽東線を未来へつなぐ

(職種:線路はつなぐよ陸羽東線利用促進業務)

陸羽東線の魅力発信を目的に、SNS(X・Instagram)での情報発信や図書館・公民館での展示企画などを通じて、地域の皆さんに陸羽東線を「自分たちの鉄道」と感じてもらう、マイルール意識の向上に取り組んでいます。活動を通して、田園風景や四季折々の自然など、地域に根付いた美しい景色と、それを守り続けてきた人たちの思いに触れてきました。

現在は「乗り鉄旅ガイド」の制作を進めています。旅行雑誌のような、手に取ることで旅に出たくなる一冊を目指しています。1年目の活動の中で得た学びを生かし、2年目は利用促進につながる具体的な発信や企画を強化し、地域と路線の価値を次世代へつないでいきます。



氏家 きらら 隊員  
出身地 大崎市(Uターン)  
勤務先 まちづくり推進課  
任期 令和7年4月～令和9年3月(2年目)

## 多文化共生を地域の力に

(職種:多文化共生推進業務)

多文化共生社会の実現に向け、パネル展示や交流会、勉強会などを通じ、外国人住民と地域の皆さんが安心できる居場所づくりに取り組んでいます。活動の中で、小さなきっかけから会話が生まれ、互いの距離が縮まっていく場面に数多く出会いました。互いを知ろうとする一歩こそが、信頼関係を築く大切な入り口であると実感しています。

新たな交流の機会を増やしていくだけではなく、これまで生まれてきたつながりをさらに深めていきます。地域の温かさを生かしながら、誰もが安心して暮らせる地域づくりを進めていくとともに、多文化共生をより身近なものとして広げていきます。



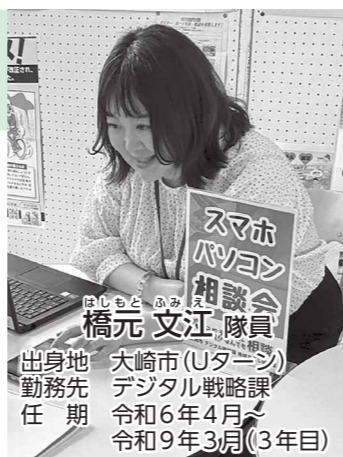
多文化共生  
秋山 千恵 隊員  
出身地 石巻市  
勤務先 大崎市立おおさき日本語学校  
任期 令和6年7月～令和9年3月(3年目)

## デジタルの一步を後押し

(職種:地域デジタル活用支援業務)

スマートフォンやパソコンを身近に安心して使えるきっかけづくりとして、デジタル機器に関する相談会や教室、体験学習の企画・実施に取り組んでいます。参加者の多くがリピーターとなり、不安が和らぎ笑顔で帰る姿や、新たな活用に踏み出す変化を間近で見ました。私は専門的に教える立場ではなく、難しい言葉をかみ砕く「翻訳者」として、興味の芽に寄り添う「伴走者」でありたいと考えています。

今年度は「変化の記録」と「継承」をテーマに、これまで生まれてきた小さな変化を丁寧に積み重ね、地域の財産として残していきます。デジタルを気軽に相談できる場を根付かせ、誰もが一歩を踏み出せる環境づくりに取り組んでいきます。



橋元 文江 隊員  
出身地 大崎市(Uターン)  
勤務先 デジタル戦略課  
任期 令和6年4月～令和9年3月(3年目)

# 地域と共に挑み、未来へつなげたい —地域おこし協力隊—

☎ 政策課地方創生担当 ☎23-2129



「地域おこし協力隊」制度とは、三大都市圏などの人材を人口減少や高齢化が進む地方で受け入れ、地域協力活動を行いながら、その地域への定住・定着を図る取り組みです。本市では現在、6人の隊員が自身の持つ知識や技術を生かし、地域と連携して大崎のために日々、奔走しています。6人の隊員が、それぞれどのような思いで取り組んでいるのか紹介します。

## 伝統工芸に新たな価値を

(職種:伝統工芸(岩出山しの竹細工)振興業務)

「しの竹細工」の技術習得に取り組みながら、地域行事への参加を通じて地域との関わりを深めています。現在は基礎となる竹ひご作りの技術を学び、素材の扱い方や工程の積み重ねの大切さを実感しています。伝統の中にある丁寧な手仕事と、それを支える地域の暮らしに触れる中で、ものづくりの価値を改めて見つめ直しています。

これまで学んできたデザインや造形の視点を生かし、伝統技術の継承にとどまらず、新たな価値づくりにも挑戦していきます。地域素材の魅力を生かし、コラボ商品の開発や情報発信を通して多くの人に「しの竹細工」を届けながら、大崎市ならではのものづくりの可能性を広げていきます。



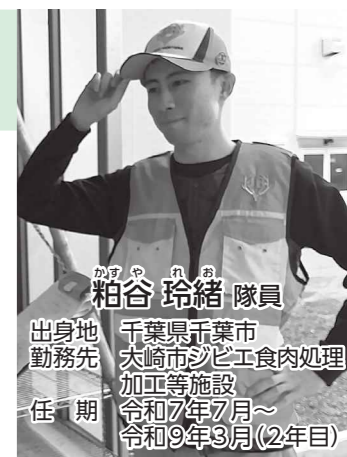
今野 まなか 隊員  
出身地 大崎市(Uターン)  
勤務先 大崎市竹芸館  
任期 令和8年4月～令和9年3月(1年目)

## 地域資源を選ばれる「価値」へ

(職種:大崎ジビエ文化創出業務)

「大崎ジビエ(イノシシ肉)」の魅力発信を目的に、加工施設と連携しながら情報発信や販売環境の整備、現場作業まで幅広く取り組んでいます。1年目は加工や流通の知識がない中でのスタートでしたが、解体補助から販売まで一貫して関わることで、「大崎ジビエ」の資源としての価値と可能性を実感しました。

2年目は商品開発に注力し、加工食品の開発や対面販売を通じて消費者との接点を増やすとともに、未利用部位の活用にも取り組むことで、「大崎ジビエ」の付加価値向上を図ります。「大崎ジビエ」を選ばれる存在へと育て、地域の新たな魅力創出を推進していきます。



粕谷 玲緒 隊員  
出身地 千葉県千葉市  
勤務先 大崎市ジビエ食肉処理加工等施設  
任期 令和7年7月～令和9年3月(2年目)